

# ときめき人

Tokimeki bito



## 「経験が大きな成長へ」 JOC全国都道府県対抗 中学バレーボール大会 ベスト16

津山町・本町一丁目

### 成澤 勇斗さん

なりさわ ゆうと  
2003年生まれ 津山中3年 血液型/O型

#### Profile

兄と姉の影響で小学4年からスポーツ少年団の津山クラブに入団し、バレーボールを始める。中学では2年秋からキャプテンを務め、元気で前向きな性格でチームをけん引してきた。身長178<sup>cm</sup>で体重68<sup>kg</sup>。尊敬する選手はバレー日本代表の石川祐希選手。

JOCジュニアオリンピックカップ第32回全国都道府県対抗中学バレーボール大会は2018年12月25日から28日まで、大阪市中央体育館で開かれ、宮城選抜チームが16強入りを果たした。

成澤さんは「自分の力がどこまで通用するか試してみたい」と選考会に参加。約120人の中から12人しか選ばれない狭き門の扉を開いた。中学でのポジションはウイングスパイカーだが、選抜ではミドルブロッカー。「ブロックは得意ではなかったので一から徹底的に練習しました」と自主練習を積み重ね、レギュラーの座を勝ち取った。

日本一を目標に挑んだ大会では、練習を重ねてきたブロックが功を奏し、勢いづいたチームは予選を1位で通過した。決勝トーナメント1回戦の

相手は神奈川選抜。第1セットを先取するも第2セットを奪い返され、迎えた第3セット。12対13とリードされたまま終盤へ。「焦りはありましたが、絶対に勝つと思ってプレーしました」と、強気で攻め続けた姿勢がチームを逆転に導き、15対13で接戦を制した。2回戦は豪強の東京選抜と対戦し、序盤は食らいつくも終盤に差をつけられ敗退。日本一を目指し、仲間と共に厳しい練習を乗り越えてきたからこそ悔しさが溢れ、涙が流れた。

「負けたのは悔しいですが、貴重な経験ができた自分の強さや弱さを知ることができました。次は高校で全国大会を目指して頑張ります」。技術だけではなく、精神面も大きな成長を遂げ、新たなステージでさらなる高みへ跳ぶための挑戦が始まる。

## 編集後記

▼成人式を取材しました。元氣と勢いがある多くの新人はとても輝いていて、若いっていいなとしみじみ。話を聞いた新成人はみんなすっかりしていて、自分が20歳の時、こんなに受け答えできたかなと考えた皆さん、おめでとうございます。(小野寺)

▼人間ドックに行ってきた。何となく予感していました。よりも悪い結果でした。体重が過去最高を更新し、人生初の脂肪肝に。食生活の改善と運動不足を解消することを心に誓いました。仕事と私生活、そして体にもメリハリをつけることが今年の目標です。(高橋)

▼今回は、めでたく100歳を迎えた3人を取材しました。3人に共通して感じたことは、家族、周りの人との会話や食事など、一つ一つの時間を楽しんでいるということ。「今」という時間に感謝し、充実した毎日を通ることが大切だと感じました。(三浦)



#### 登米市メール配信サービス

(防災や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)  
<https://mail.cous.jp/tomeicity/>